



Photo:
胆沢ダム(岩手県奥州市)
(平成25年11月竣工、平成26年5月撮影)

のこすこと、つくること

どちらも国土技術です。

平成26年度 国土交通省

国土技術研究会

2014年

11/ 5 水・6 木

会場: 中央合同庁舎2号館

東京都千代田区霞ヶ関2-1-2

国土技術研究会は、住宅・社会資本整備行政に係る技術課題、中長期的に又は緊急的に取り組むべき技術課題等について、本省、地方整備局、北海道開発局、地方航空局、試験研究機関等が連携を図りつつ調査・研究を行い、議論を重ねることにより、住宅・社会資本整備に関する技術の向上と行政への反映を図ることを目的として開催するものです。

【参加費無料】【事前申込受付中～10/31(金)17時まで】

(※)特別講演会場には収容人数に限りがございます。会場の安全管理の観点から事前申込により入場制限をさせて頂く場合がございます。お早目の参加申込をお願い致します。

事前参加申込の手続きは国土技術研究会HPをご覧ください。

<http://www.mlit.go.jp/chosahokoku/giken/index.html>

課題論文、プログラム詳細はホームページに掲載しております。必要に応じてプリントアウトしてお持ちください。内容については、変更する場合があります。最新情報については、ホームページをご覧ください。

【プログラム】

5日

- 自由課題
一般部門(安全・安心、活力)
イノベーション部門
- ポスターセッション
- 建設技術研究開発助成制度成果報告会

6日

- 自由課題
アカウンタビリティ部門
- 指定課題
- ポスターセッション
- 建設技術研究開発助成制度成果報告会
- 特別講演

望月 正彦 氏(三陸鉄道株式会社代表取締役社長)

『三陸鉄道―復旧・復興の取組み』

土木学会認定
CPDプログラム

主催 国土交通省

Photo:
平成26年7月に実施された『重要文化財「日本橋」を洗う』の様子

平成26年度国土交通省国土技術研究会

特別講演『三陸鉄道 復旧・復興の取組み』

日時：平成26年11月6日(木) 15:05~16:05<予定>

会場：中央合同庁舎2号館(地下2階) 講堂



望月 正彦
Mochiduki Masahiko

三陸鉄道株式会社
代表取締役社長

【略歴】

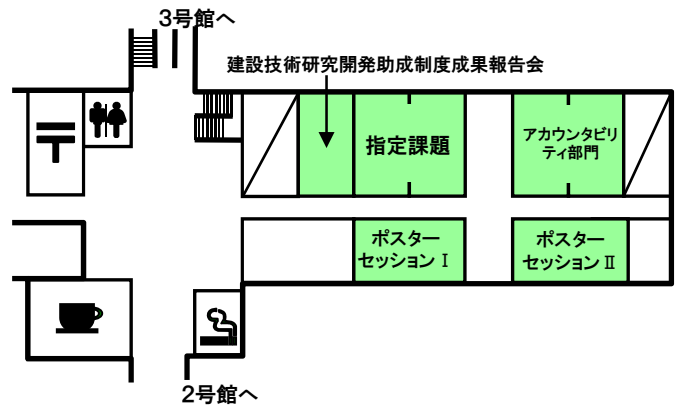
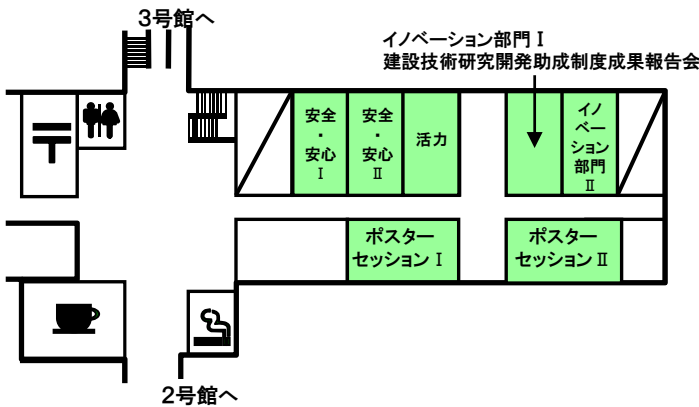
平成20年4月 盛岡地方振興局長
平成22年3月 同上退職
平成22年6月 三陸鉄道株式会社 代表取締役社長

会場案内

- 特別講演は、中央合同庁舎2号館(地下2階)講堂で行います。
- 講堂の収容人数の関係上、事前参加申込を実施致します。

第1日目：11月5日(水)

第2日目：11月6日(木)



プログラム

第1日目 11月5日(水)		第2日目 11月6日(木)			
10:30 受付開始		9:30 受付開始			
自由課題発表 一般部門・イノベーション部門		ポスターセッション	自由課題発表 アカウンタビリティ部門	指定課題発表	建設技術研究開発助成制度 成果報告会
11:00 一般部門<安全・安心I> 3課題 一般部門<安全・安心II> 3課題 一般部門<活力> 3課題 イノベーション部門I 3課題 イノベーション部門II 3課題		展示数: 14課題	10:00 アカウンタビリティ部門 計10課題	10:00 指定課題 計5課題	10:00 政策課題解決型 7課題 震災対応型 2課題
12:00 休憩		コアタイム 11:50~ 13:10 ※コアタイム中は、 説明者が常駐	12:20	14:30	14:30
13:00 一般部門<安全・安心I> 12課題 一般部門<安全・安心II> 10課題 一般部門<活力> 8課題 イノベーション部門I 6課題 イノベーション部門II 6課題		建設技術研究開発助成制度 成果報告会	特別講演		
17:20		15:40 政策課題解決型 4課題 震災対応型 1課題	14:30~15:00 受付 15:00~15:05 主催者挨拶(中央合同庁舎2号館 講堂) 15:05~16:05 特別講演(中央合同庁舎2号館 講堂)		
		17:20	表彰式		

自由課題（一般部門）

<安全・安心I> 1日目：11月5日（水）11:00～17:20

NO	時間割	課題名	所属	発表者
1	11:00～11:20	地震動・火災・津波のマルチハザード広域避難モデルの開発	(独)建築研究所防火研究グループ	西野 智研
2	11:20～11:40	電子防災情報システムによる迅速な情報の集約と共有	国土地理院企画部防災推進室	栗栖 悠貴
3	11:40～12:00	茨城港常陸那珂港区長周期波対策施設の効果検証	関東地方整備局鹿島港湾・空港整備事務所第一工務課	菅原 修一
4	13:00～13:20	人工衛星SAR画像による河道閉塞箇所の緊急判読調査手法の提案	国土技術政策総合研究所土砂災害研究部土砂災害研究室	神山 嬢子
5	13:20～13:40	測量用航空機からの斜め写真を用いた迅速な被災情報提供の取り組み	国土地理院基本図情報部画像調査課	久保 領一
6	13:40～14:00	地震被害を踏まえた建築非構造部材の被害低減のための検討	国土技術政策総合研究所建築研究部評価システム研究室	脇山 善夫
7	14:00～14:20	地震後の継続使用を意図したRC造建築物の構造方法	(独)建築研究所構造研究グループ	田尻 清太郎
8	14:30～14:50	新桂沢ダムにおける基礎岩盤の評価手法 ー同軸嵩上げダムにおける既設ダム堤敷の岩盤評価ー	北海道開発局旭川開発建設部サンルダム建設事務所えん堤班	尾関 敏久
9	14:50～15:10	緊急油圧装置の開発	(独)水資源機構関西支社	笠原 諭
10	15:10～15:30	防災拠点のネットワーク形成に向けた検討	中部地方整備局企画部防災課	野村 博
11	15:30～15:50	国道25号における兼用道路の通行規制基準について	近畿地方整備局豊岡河川国道事務所道路管理課	的羽 正樹
12	16:00～16:20	PDCAサイクルを活用した水位観測システムの強化について	中国地方整備局太田川河川事務所調査設計第一課	西川 直樹
13	16:20～16:40	地域消防と排水ポンプ車の連携について	北陸地方整備局高田河川国道事務所防災課	横田 浩昭
14	16:40～17:00	企業向け水害版事業継続計画(BCP)作成の支援について	九州地方整備局武雄河川事務所防災情報課	平石 貴義
15	17:00～17:20	樋門ゲートに対する河川津波波力低減手法に関する研究	(独)土木研究所寒地土木研究所寒地水圏研究グループ寒地河川チーム	阿部 孝章

自由課題（一般部門）

<安全・安心II>

1日目：11月5日(水) 11:00～16:40

NO	時間割	課題名	所属	発表者
1	11:00～11:20	発生メカニズムを考慮した港内長周期波に対する静穏度解析	(独)港湾空港技術研究所海洋研究領域波浪研究チーム	長沼 淳也
2	11:20～11:40	ジオグリッド補強土壁の壁面背面箇所の締固め不足が耐震性に及ぼす影響について	(独)土木研究所地質・地盤研究グループ施工技術チーム	藤田 智弘
3	11:40～12:00	セメントコンクリート舗装のアスファルト中間層の有効性	(独)土木研究所道路技術研究グループ舗装チーム	堀内 智司
4	13:00～13:20	河川特性を考慮した河道管理の効率的な手法	関東地方整備局江戸川河川事務所管理課	高玉 郁子
5	13:20～13:40	桟橋上部工の維持管理シナリオに関する検討	(独)港湾空港技術研究所ライフサイクルマネジメント支援センター	野上 周嗣
6	13:40～14:00	道路橋の伸縮装置における漏水対策の検討について	東北地方整備局東北技術事務所維持管理技術課	菊池 淳
7	14:00～14:20	PFI手法を用いた東京国際空港国際線地区エプロン等整備等事業における維持管理について～大規模補修工事の実施～	関東地方整備局東京空港整備事務所事業調整課	桐原 憲一郎
8	14:30～14:50	舞鶴港における将来計画を見据えた岸壁の老朽化対策に関する技術的検討について	近畿地方整備局神戸港湾空港技術調査事務所設計班	川端 稔教
9	14:50～15:10	融雪期に発生する舗装の損傷実態と損傷のメカニズム	(独)土木研究所寒地土木研究所寒地保全技術研究グループ寒地道路保全チーム	丸山 記美雄
10	15:10～15:30	河床洗掘事例から考察した施設点検について	九州地方整備局河川部河川環境課	添田 昌史
11	15:30～15:50	伏木富山港(新湊地区)臨港道路東西線(新湊大橋)のケーブル振動対策について	北陸地方整備局新潟港湾空港技術調査事務所技術開発課	清水 美代
12	16:00～16:20	海上部の高橋脚における近赤外線分光法を用いた塩化物イオン量の推定	本州四国連絡高速道路(株)鳴門管理センター 橋梁維持課	長尾 幸雄
13	16:20～16:40	備讃瀬戸北航路の維持浚渫工事について	四国地方整備局高松港湾・空港整備事務所航路管理課	範國 大介

自由課題（一般部門）

<活力>

1日目：11月5日(水) 11:00～15:50

NO	時間割	課題名	所属	発表者
1	11:00～11:20	大型車両に対する走行経路表示システムの有効性検証	国土技術政策総合研究所道路交通研究部高度道路交通システム研究室	築地 貴裕
2	11:20～11:40	旧北上川河口かわまちづくり・景観検討	東北地方整備局北上川下流河川事務所工務第一課	木本 悠太
3	11:40～12:00	防雪林が育成するまでの防雪対策について 一般国道276号岩内共和道路	北海道開発局札幌開発建設部深川道路事務所工務課	岩館 豊和
4	13:00～13:20	河川環境調査への遺伝情報の活用	(独)土木研究所水環境研究グループ河川生態チーム	村岡 敬子
5	13:20～13:40	河川堤防の刈草を活用した下水汚泥の混合消化ガス発電の経済性と環境負荷軽減の検討	北陸地方整備局建政部都市・住宅整備課	山崎 憲人
6	13:40～14:00	凍結防止剤散布を考慮した路面すべり抵抗値の簡易推定手法	(独)土木研究所寒地土木研究所寒地道路研究グループ寒地交通チーム	藤本 明宏
7	14:00～14:20	時間的・空間的連続観測データによる水質環境変動の検証～活力ある伊勢湾の再生に向けた新たな知見～	中部地方整備局名古屋港湾空港技術調査事務所技術開発課	鷺見 直子
8	14:30～14:50	花木園の再生管理について	関東地方整備局京浜河川事務所多摩川上流出張所	澤村 絢子
9	14:50～15:10	アサリのすむ人口干潟を目指して～大島干潟整備におけるアサリの育成に配慮した施工と環境改善効果について～	中国地方整備局宇部港湾・空港整備事務所工務課	鍵本 慎太郎
10	15:10～15:30	北部国道事務所におけるヤンバルクイナロードキル対策について	内閣府沖縄総合事務局北部国道事務所調査課	金城 基樹
11	15:30～15:50	移植困難種であるムヨウラン属の移植成功事例について	四国地方整備局山鳥坂ダム工事事務所調査設計課	新谷 大吾

自由課題（イノベーション部門Ⅰ）

1日目：11月5日（水）11:00～15:10

NO	時間割	課題名	所属	発表者
1	11:00～11:20	PCB除去を目的とした橋梁塗替塗装について	関東地方整備局横浜国道事務所調査課	渡邊 健太郎
2	11:20～11:40	粘り強く効果を発揮する「高潮防波堤」の改良工事～南海トラフ巨大地震に備える～	中部地方整備局名古屋港湾事務所沿岸防災対策室	森下 倫明
3	11:40～12:00	国道113号舗装修繕におけるリフレクションクラック対策の効果について	北陸地方整備局新潟国道事務所新発田維持出張所	長谷川 崇
4	13:00～13:20	段階施工を可能とする防波堤整備工法について～連結セルラブロック工法の開発～	北海道開発局港湾空港部港湾建設課	水島 良
5	13:20～13:40	広島空港滑走路における赤外線調査について	中国地方整備局広島港湾・空港整備事務所広島空港出張所	堀江 利樹
6	13:40～14:00	急流河川における「巨石付き盛土砂州を用いた河岸防護工」の効果検証	北陸地方整備局富山河川国道事務所調査第一課	徳島 美幸
7	14:00～14:20	海岸堤防復旧工事での盛土材調達の取組み	東北地方整備局仙台河川国道事務所海岸課	小野 伊佐緒
8	14:30～14:50	全国初！宮崎海岸における埋設護岸（サンドバック工法）を用いた海岸浸食対策	九州地方整備局宮崎河川国道事務所宮崎海岸出張所	久木原 誠
9	14:50～15:10	那覇空港滑走路増設事業における貴重藻類の移植について	内閣府沖縄総合事務局開発建設部空港整備課	宇江城 菜乃

自由課題（イノベーション部門Ⅱ）

1日目：11月5日（水）11:00～15:10

NO	時間割	課題名	所属	発表者
1	11:00～11:20	無人航空機(UAV)による西之島の空中写真撮影と高精度地形計測	国土地理院地理地殻活動研究センター地理情報解析研究室	中埜 貴元
2	11:20～11:40	衛星AISを活用した北極海航路航行実態分析	国土技術政策総合研究所港湾研究部港湾計画研究室	谷本 剛
3	11:40～12:00	博物館 展示証明の全面LED化について	近畿地方整備局宮繕部整備課	石澤 佳也
4	13:00～13:20	リノベーション手法による米沢税務署の整備効果について	東北地方整備局宮繕部整備課	山尾 司
5	13:20～13:40	効率的な河川の維持管理に向けた取り組みについて	四国地方整備局河川部地域河川課	宮田 晃
6	13:40～14:00	オープンソースGISを利用した位置情報の活用提案	長野県建設部河川課	島田 ゆり
7	14:00～14:20	高津川の多自然川づくりについて	中国地方整備局浜田河川国道事務所河川管理課	松尾 至哲
8	14:30～14:50	潤滑油診断結果に基づく保全手法の選定とコスト縮減の効果	(独)水資源機構長良川河口堰管理所	戸崎 浩輔
9	14:50～15:10	遠賀川河口堰多自然魚道における施工上の配慮と工夫について	九州地方整備局遠賀川河川事務所河口堰管理支所	田中 聡

自由課題（アカウンタビリティ部門）

2日目：11月6日（木） 10:00～12:20

NO.	課題名	所属	発表者
1	ドクターヘリを支援する道路の工夫 ～より迅速に、より安全にランデブーするための提案～	北海道開発局釧路開発建設部釧路道路事務所計画課	高山 博幸
2	現場からはじめる建設産業支援～出張所における工事広報～	東北地方整備局郡山国道事務所喜多方出張所	阿久津 奈々
3	横浜市における持続可能な地域公共交通の実現に向けた取組	横浜市道路局道路局計画調整部企画課	山形 珠実
4	『水害から地域を守るために働く人』を知ってもらうための広報	北陸地方整備局信濃川下流河川事務所総務課	渡邊 貴子
5	地域連携による「100mm/h安心プラン」の取り組み	中部地方整備局河川部地域河川課	加勢田 賢治
6	地域課題の解決に向けた合意形成について～武庫川河川改修における事業連携の取組み～	兵庫県県土整備部土木局道路企画課高速道路室	矢尾 哲雄
7	平成25年島根山口豪雨災害時における広報活動	中国地方整備局企画部企画課	栢 俊明
8	堤外地に働く人たち等を対象とした避難対策についての報告	四国地方整備局小松島港湾・空港整備事務所工務課	米原 秀将
9	有明海沿岸道路 筑後川・早津江川橋梁におけるCIMを活用した設計及び合意形成について	九州地方整備局福岡国道事務所工務課	田中 健二郎
10	「事業マネジメントの見える化」について	内閣府沖縄総合事務局開発建設部建設行政課	仲村 将成

指定課題

2日目：11月6日（木） 10:00～14:30

NO.	時間割	課題名	代表者氏名
1	10:00～10:40	南海トラフ巨大地震・首都直下地震における災害対策用機械の配備・活用に関する研究	総合政策局 公共事業企画調整課 課長補佐 山下 尚
休憩 10分			
2	10:50～11:30	災害現場からの情報収集の高度化に関する研究	大臣官房 技術調査課 電気通信室 課長補佐 伊藤 太一
休憩 10分			
3	11:40～12:20	大規模火山噴火に対応した実践的な緊急減災対策砂防に関する研究	水管理・国土保全局 砂防部 砂防計画課 地震・火山砂防室 課長補佐 山越 隆雄
休憩 40分			
4	13:00～13:40	道の駅の様々な取組について	道路局 国道・防災課 課長補佐 山田 雅義
休憩 10分			
5	13:50～14:30	港湾施設の技術基準の高度化に関する研究～次世代技術基準の構築に向けて～	国土技術政策総合研究所 港湾研究部 主任研究官 竹信 正寛

ポスターセッション

※コアタイム

5日(水)11:50~13:10、6日(木)11:50~13:10

この時間帯は、発表者がポスター前に待機し、来場者からの質疑に応答致します。

NO.	課題名	所属	発表者
1	除雪機械の現状と取り組み(北海道の冬の暮らしを守るため)	北海道開発局事業振興部機械課	山口 洋士
2	放射能汚染土砂の分級・減容化実証実験について	福島県県中建設事務所	安藤 淳也
3	圏央道(東金~木更津)開通整備効果について	関東地方整備局千葉国道事務所計画課	鈴木 優
4	情報通信技術を活用したロータリー除雪車支援装置の開発	北陸地方整備局北陸技術事務所施工調査・技術活用課	藤巻 聡
5	機械設備等に関する研修施設の新しい試み	中国地方整備局中国技術事務所施工調査・技術活用課	清野 滋雄
6	LPデータを活用した河道閉塞規模の推定と応急対策計画の検討	四国地方整備局四国山地砂防事務所調査課	氏原 暁歩
7	簡易橋梁点検システムの開発について	九州地方整備局九州技術事務所施工調査・技術活用課	三浦 成治
8	「黄金御殿等新施設の紹介」及び今後の整備計画について	内閣府沖縄総合事務局国営沖縄記念公園事務所首里出張所	池田 豊
9	空港アスファルト舗装の施工厚と締固め度について	国土技術政策総合研究所空港研究部	大谷 直輝
10	災害対応における3Dプリンタの活用	国土地理院地理空間情報部企画調査課	岡安 里津
11	GNSSリアルタイム解析による地震規模の即時推定	国土地理院地理地殻活動研究センター宇宙測地研究室	川元 智司
12	積雪寒冷地における中温化舗装の適用について	独立行政法人土木研究所寒地土木研究所寒地道路保全チーム	安倍 隆二
13	冬期道路の吹雪危険度評価に関する研究	独立行政法人土木研究所寒地土木研究所雪氷チーム	武知 洋太
14	コンクリート構造物における防水・仕上材の中性化及び塩害抑制効果	独立行政法人建築研究所材料研究グループ	宮内 博之

建設技術研究開発助成制度成果報告会

1日目:11月5日(水) 15:40~17:20

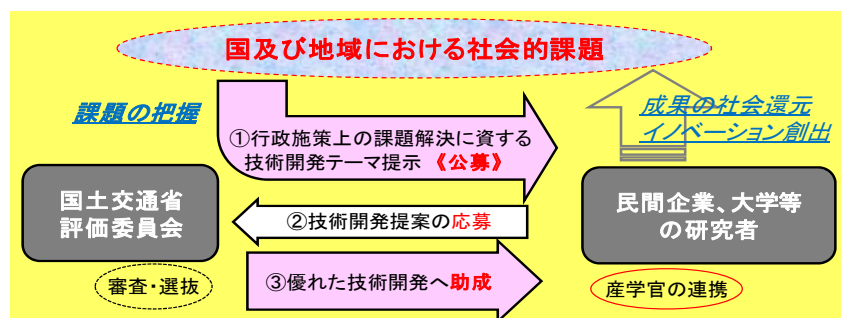
NO.	時間割	研究課題名	代表者所属	代表者氏名
1	15:40~16:00	竹材等の低利用資源を用いた高性能壁土の開発	有限会社田園都市設計	大西 泰弘
2	16:00~16:20	防災・長寿命化実現のための超高強度高靱性モルタルを用いた水中ライニング工法の設計・施工法の開発	岐阜大学工学部社会基盤工学科	國枝 稔
3	16:20~16:40	低コスト・高精度な地盤調査法に基づく宅地の液状化被害予測手法の開発	大阪市立大学大学院工学研究科都市系専攻	大島 昭彦
4	16:40~17:00	地震時の超高層建物の室内安全対策技術の開発	千葉大学大学院工学研究科建築・都市科学専攻	高橋 徹
5	17:00~17:20	サンゴ礁州島形成モデルの開発	東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻	茅根 創

2日目:11月6日(木) 10:00~14:30

NO.	時間割	研究課題名	代表者所属	代表者氏名
1	10:00~10:20	宅地、堤防等において従来とほぼ同程度の精度で安価かつ効率的な液状化判定システムの開発	基礎地盤コンサルタンツ株式会社	柳浦 良行
2	10:20~10:40	動的貫入試験による経済的で高精度な液状化調査法の研究開発	関東学院大学理工学部土木学系	規矩 大義
休憩 10分				
3	10:50~11:10	ASR劣化構造物の力学性能推定技術の確立	京都大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻	宮川 豊章
4	11:10~11:30	総合的な社会資本の戦略的維持管理システムの開発	岐阜大学工学部社会基盤工学科	本城 勇介
休憩 10分				
5	11:40~12:00	電波の位相差計測による広域岩盤崩落・崩壊リアルタイムモニタリングシステムの開発	株式会社地層科学研究所	里 優
休憩 60分				
6	13:00~13:20	被災堤防緊急対応のための3次元堤防可視化ツール及び対策設計システムの開発	京都大学大学院工学研究科都市社会工学専攻	松岡 俊文
7	13:20~13:40	建築生産における三次元データを用いた維持管理データの管理・描画技術の開発	大成建設株式会社技術センター	藤井 俊二
休憩 10分				
8	13:50~14:10	コンクリート構造物に塩害劣化自己防衛機能を付与するための新しい混和材料の開発	鹿児島大学大学院理工学研究科海洋土木工学専攻	武若 耕司
9	14:10~14:30	既設落石防護擁壁工に関する三層緩衝構造を用いた耐衝撃性能の高度化に関する技術開発	株式会社構研エンジニアリング	牛渡 裕二

建設技術研究開発助成制度とは

国や地域の諸課題(地球温暖化、社会インフラの老朽化、少子高齢化等)の解決に資するための技術開発テーマを国土交通省が示し、そのテーマに対し民間企業や大学等の先駆的な技術開発提案を公募し、優れた技術開発を選抜し助成する競争的資金制度。



□政策課題解決型(一般タイプ)

第4期科学技術基本計画(閣議決定)、科学・技術重点施策アクションプラン(総合科学技術会議等)及び第3期国土交通省技術基本計画を踏まえ、**国土交通政策上重要課題を解決するため技術研究開発**に重点化を図る。
(技術開発課題: 戦略的維持管理・更新、自然災害被害軽減)

□政策課題解決型(中小企業タイプ)

地域の地理的又は社会的な状況に精通し、地域の活力を支える中小建設企業を主な対象とした技術研究開発を支援する枠組みを構築し、**地域課題の解決を通じ地域活性化**を促す。1年目は事前調査(F/S)、事前調査を踏まえ半分程度に絞り込み、2年日以降は研究開発(R&D)に対し助成を実施。
(技術開発課題: 地域の地形・地質、気象、文化等の実情に応じた課題解決に資する技術研究開発)